

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	中国帰国者等援護事業	所管	保健福祉部 福祉総務課 Tel 2998-9113
-----	------------	----	------------------------------

事業の目的 (何の為に 行うか)	帰国者が日本の生活に定着し、円滑な生活が送れるよう支援するため。
------------------------	----------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	中国帰国者、樺太帰国者	対象とした数	81	人
		実際に 利用した数	17	世帯

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入所した研修生が退所する際に、世帯単位で記念品(生活必需品)を贈呈する。 ・ 研修生の終了式等に市の代表者が出席する。 							
		活動実績	項目名	記念品贈呈世帯数	17	項目名		項目名	
			単位 世帯						

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	168	80	1,019	3.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	帰国世帯入所定着率	退所世帯÷入所世帯数	100	100	100.0
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他〔 〕			
		終了	⇒ 事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	040100	TEL	2998-9113
事業コード	中国帰国者等援護事業					
040104	保健福祉部 福祉総務課					
開始年度		昭和 61 年度	—	終了年度	平成 年度	
グループ		総務・民生委員担当				

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託＋附加	根拠法令	
	分野別計画・指針						
	関連・類似事業						
	総設計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策		中柱	小柱
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 *** 位						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ							
コード 3261 事務事業見直しの推進							
事業開始の背景 昭和47年9月に日中国交が回復されて以来、中国に残留を余儀なくされていた日本人とその家族が、つぎつぎと帰国した。帰国した者が、日本に定着し、円滑な生活が送れるための基礎研修を行う機関として、中国帰国者定着促進センターが設立され、地元市として入所する研修生の援護を行うこととなった							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	帰国者が日本の生活に定着し、円滑な生活が送れるよう支援するため。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)						
	中国帰国者、樺太帰国者			利用数の考え方			
	対象数	単位	平成 18 年度	63	人	平成 18 年度	16
		平成 19 年度	81	人	平成 19 年度	17	世帯
事業の具体的な内容及び実施方法							
・入所した研修生が退所する際に、世帯単位で記念品(生活必需品)を贈呈する。 ・研修生の終了式等に市の代表者が出席する。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>						
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())					
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
平成19年度中に改善した点							
特になし							

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		210	168	147	
	決算 (見込み含む)		73	80		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)			
	正規職員人件費		0.06 人	552	0.10 人	939
	公債費					
	事業費合計		625	1,019		
	財源内訳	一般財源	625	1,019	147	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			1.8	3.0		
利用数一単位あたり(単位:円)			39,062.5	59,964.7		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	記念品贈呈世帯数	世帯	16	17	17	
	成果分析	帰国世帯入所定着率	退所世帯÷入所世帯数	%	100	100	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
				%	100.0	100.0	1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	明らかとなった課題	退所者が円滑な生活が送れるように支援する事業のため、改善の必要はないと考える。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	地元市として入所する研修生の援護 帰国者支援事業	福祉行政の一貫として、行事参加者数及び回数増	開催時	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	退所者が円滑な生活が送れるように支援するため、基礎研修をされた地元自治体として、退所世帯へ生活必需品を記念品として贈呈している。今後も実施していく考えである。			
評価日	H20.5.2	記入者職氏名	福祉総務課長 中村 俊明	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価理由				
	評価日	評価日				
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	
見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
評価日	評価日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎個別計画	施策の体系	施策の方向	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
施策の方向				